

第1四半期における交通事故状況の分析結果

1 事故発生件数・死重傷者数(1日あたりの平均)

▶ 件数・死重傷者数ともに、第1四半期は、過去5年における全期間(1~12月)の平均(70.4件/日、8.2人/日)を下回る時期が多く、1月上旬は年間を通じて最も少ない。

▶ **3月下旬の件数および死重傷者数**は第1四半期の中で最も多い時期となっている。
※死重傷者数とは、死者(発生から24時間以内になくなった人)と重傷者(交通事故によって、負傷し、30日以上の治療を要する人)を合わせた数をいう。

2 当事者別死重傷者数(5年間の合計)

- ▶ **二輪車と自転車**の死重傷者が多く、あわせて全体の69.5%を占める。
- ▶ 第1四半期の全死重傷者数は平均より6%少ないが、**歩行者**の死重傷者数は平均より3%多い。

3 時間帯別死重傷者数(5年間の合計)

- ▶ **18~20時**が最も多く、平均と比較しても9%多くなっている。
- ▶ その他、**8~10時**、**16~18時**も多い。

4 年齢層別死重傷者数(5年間の合計)

- ▶ 第1四半期の死重傷者数のうち**65歳以上の高齢者が33.3%**を占め、特に75歳以上の死重傷者は18.3%を占めている。
- ▶ 第1四半期の死重傷者数のうち65歳以上では自転車乗用中、65歳未満では二輪車乗車中の割合が多い。

5 その他、第1四半期の特徴的な傾向

- ▶ 第1当事者が**飲酒運転**※1をしていた事故は**2月**に最多(11月と同率)となる。
- ▶ 第1当事者が飲酒運転をしていた事故は、第1四半期では**20~22時**が最多となり、平均と比較して異なる傾向を示す(平均でみれば22時以降の時間帯が発生のピークとなる)。

参考: 第1当事者が飲酒運転をしていた事故の時間帯別発生件数 (R1年10月~R6年9月)

